

## 閉会挨拶

一般社団法人 J A 共済総合研究所 専務理事

有長 光司



長い時間にわたりまして、オンライン形式でのセミナーにご参加いただき、お疲れさまでした。令和2年度JA共済総研セミナーの閉会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まず本日は、JA共済総研セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。また、ご講演・ご報告いただきました湯浅先生、窪田支部長、前田室長に心より御礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

えた交流拠点など、子ども食堂の多様な機能についてより深く考える機会になったのではないかと感じております。

子ども食堂はコロナ禍を超えて今後も大きく成長することが期待されます。そのためには地域に根差したJAなどの協同組合が、「時として運営主体として、時として縁の下の力持ち」といったかたちで有形無形の支援を行う」、そのような連携が重要なのではないでしょうか。単体では取り組めない、しかし地域の多様な組織主体が互いに補完しあう中でなら取り組んでいくことができます。私たちJAグループは地域で連携し、豊かな地域づくりに貢献してゆくことを目標としており、今後も皆さまとともに地域の活動に積極的に取り組んでいきますので、よろしく願いたします。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大の一日

さて、今回のセミナーは、コロナ禍が続くなかで、豊かな地域づくりの視点から、「地域と連携して拓く子ども食堂の可能性と協同組合への期待」というテーマで開催させていただきました。ですが、コロナ感染の拡大が続く困難な環境のもとでの実際の取組みについてご紹介いただき、その取組みの力強さを感じました。そしてアフターコロナ、新しい日常における子ども食堂の在り方についてもお話しいただきました。つながりというキーワードにより、地域の世代を超

も早い収束を願うとともに、本日セミナーにご参加いただきましたことにあらためて心よりお礼申し上げます、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。